

1. 施策への住民満足度

(1) 住民満足度が上がっていた項目

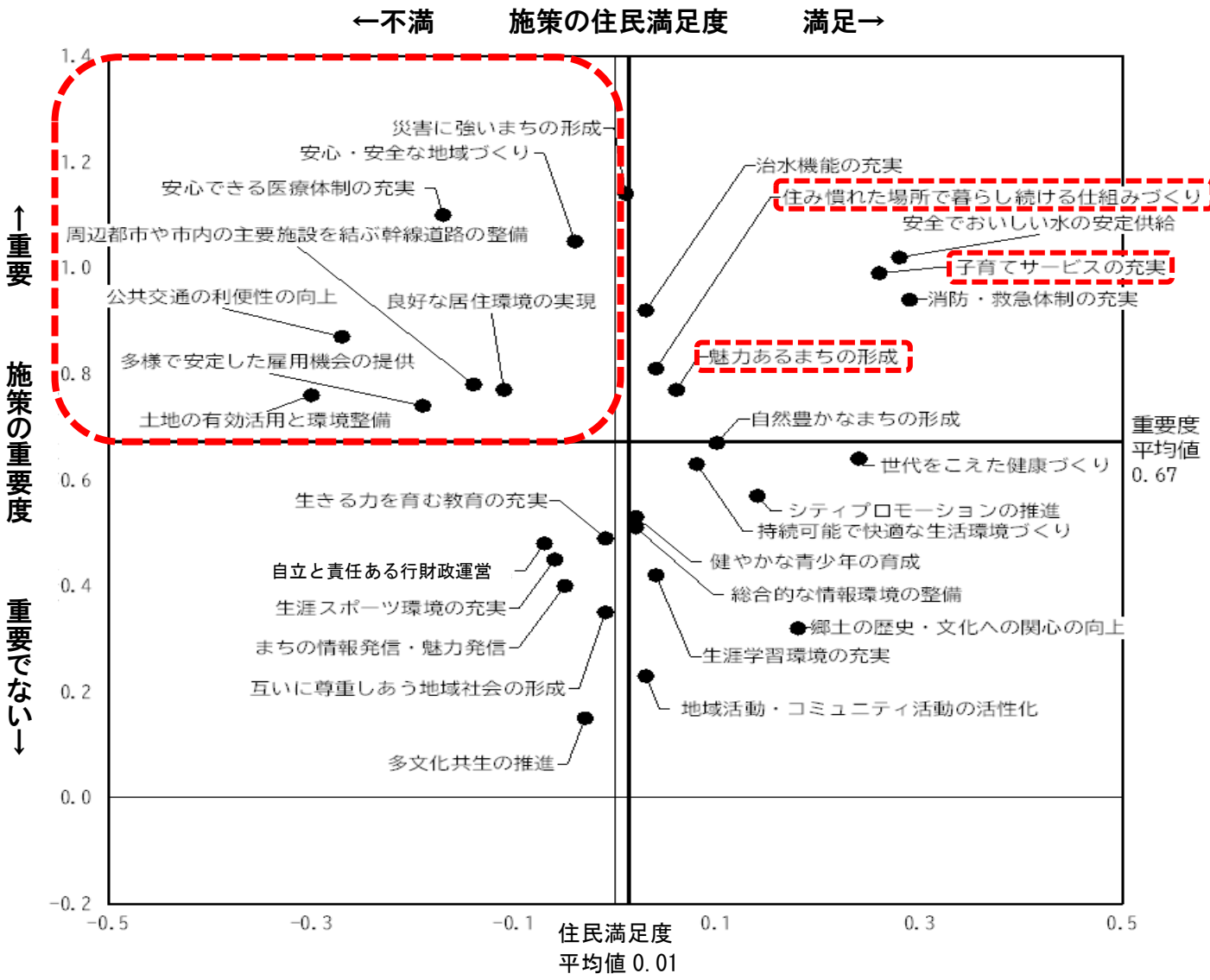
項目	満足度	
	2019 年	2025 年
① 住み慣れた場所で暮らし続ける仕組みづくり (地域包括ケア、おでかけタクシー等)	11.0%	22.7%
② 子育てサービスの充実 (子育て支援トータルプラン等)	12.2%	33.8%
③ 魅力あるまちの形成 (天王川公園、津島駅周辺の再整備等)	5.5%	31.1%

約2倍
約3倍
約6倍

(2) 更に改善を目指す項目

項目	満足度	
	2019 年	2025 年
① 土地の有効活用と環境整備 (住宅地などの適正配置等)	10.5%	10.2%
② 公共交通の利便性の向上 (ふれあいバスの運行等)	15.2%	17.2%
③ 多様で安定した雇用機会の提供 (企業誘致事業等)	7.9%	10.0%
④ 安心できる医療体制の充実 (津島市民病院の運営等)	18.4%	25.5%

(▲0.3%)
(+2.0%)
(+2.1%)
(+7.1%)



上記(2)更に改善を目指す項目への対応

①「土地利用計画」

「一宮西港道路」、「(仮称)愛津大橋」、「北の玄関の青塚駅」、「南の玄関の永和駅」、「神守地区、唐臼地区の用途地域見直しによる規制緩和」、「企業誘致」についてを追記
藤浪駅南部(土地利用検討ゾーン)について、駅の近接性や隣接する市街地との一体的な土地利用の促進、新たな定住人口の獲得など、総合的な観点から土地利用を推進する旨を明記

②「分野別計画」

「誰もがコミュニティバスを快適に利用できるように、機能や設備を充実させる」という文言を追記

③「重点戦略」

「企業誘致等により、生活者の暮らしの安定を支える雇用の創出や若者や女性にとって魅力ある雇用の場を確保」という旨の文言を追記

④「分野別計画」

「市民病院の経営強化」という旨の文言を追記

「第5次津島市総合計画中間見直しに関する市民意識調査」調査結果報告書の概要について

2-1. 住まいとして津島市を選んだ際に考慮したこと

- 居住歴
 - 「生まれたときから津島市に住んでいる」———27.6%
 - 「移住経験者※」———67.0%
 - ※「津島市に生まれたが、進学や就職等で一時期市外に転出し、津島市に戻ってきた」、「生まれてから今までの間に、津島市に移り住んだ」者
- 移り住んだきっかけ
 - 「住宅を住み替えたため」———37.0%
 - 「結婚のため」———32.1%
- 津島市を選んだ際に考慮したこと（回答方法：3つまで○）

選んだ際に考慮したこと		
1	親や家族と同居または近くに住むため	53.4%
2	手頃な価格・賃料の住宅がある	21.8 %
3	通学・通勤の公共交通の便がよい	16.3 %
4	緑や農地、自然が多く環境がよい	10.9 %
5	買い物などが便利	10.0 %

2-2. 今後の定住意向

- 定住意向
 - 「住み続けたい」———37.3%
 - 「当分住み続けたい」———35.8%
 - 合計 73.1%（前回 73.4%）

● 移転をしたいと思う理由（回答方法：3つまで○）

移転をしたいと思う理由		
1	通学・通勤の公共交通の便が悪い	41.2%
2	買い物などが不便	31.4%
3	行政サービスに不満がある	26.3%

◎「通学・通勤の公共交通の便が悪い」という意見への対策

コミュニティバスの見直しを進め、公共交通の利便性を向上させる等、上記の1. 施策への住民満足度、（2）更に改善を目指す項目の「②公共交通の利便性の向上（ふれあいバスの運行等）」の施策を推進

- ◎津島市定住促進事業補助金
 - 親世帯と同居や近居している場合、50万円(定額)を加算額として補助
- ◎(改訂案)第5次津島市総合計画後期基本計画への反映
 - 市への定住を促す施策を行い、流出人口の抑制と流入人口の増加を図る旨を「重点戦略」、「分野別計画」に明記

「第5次津島市総合計画中間見直しに関する市民意識調査」調査結果報告書の概要について

3. まちづくりで重要となるキーワード

まちづくりで重要となるキーワード (最も重要と思う項目)		
1	子育て支援	21.7%
2	企業誘致、創業支援、地域活性化	18.4%
3	駅の魅力向上・活用	12.0%
4	質の高いインフラの整備	6.8%
5	防災・減災の構築	5.9%

市民の方が、まちづくりで重要と考えているキーワードについては、津島市が重点施策として掲げている「①まちづくり再生！ 正面玄関「津島駅」の再整備」、「②全国トップクラス！ 子ども、子育て支援の継続」、「③定住の促進！ 住みたいまちへ魅力の創出と発信」と一致

4. こどもを持つことに慎重になる理由

こどもを持つことに慎重になる理由 (最も考えに近いもの)		
1	生活費や教育費などの経済的負担への不安	53.0%
2	仕事と家庭の両立に対する不安	8.1%
3	自分の時間やライフスタイルを大切にしたい	4.9%
4	出産や育児に関する支援制度が十分でないと感じる	4.6%
5	こどもを持つことの必要性を感じていない	4.6%

市民の方が、こどもを持つことに慎重になる理由で最も多いのは、「生活費や教育費等の経済的負担への不安」であり、津島市においては、子育て支援トータルプランにおいて、市民のニーズに応えており、今後も引き続き子育て支援サービスの充実を推進していく必要がある

5. 人口増加対策として優先すべき項目

人口増加対策として優先すべき項目 (最も優先すべき項目)		
1	子育ての負担感の解消	20.5%
2	企業誘致による税収増加・働く場の確保	16.3%
3	医療・介護ニーズの急増への対応	11.9%
4	市の正面玄関である津島駅・天王通りの再整備（魅力向上）	9.5%
5	地域での暮らしを支える機能（医療・福祉・介護サービス等）の維持	7.4%

市民の方が、人口増加対策として優先すべきと考えている項目については、3. まちづくりで重要となるキーワードと多くは同様となっており、津島市の掲げる重点施策と一致

〈参考〉

- 調査対象：津島市在住の18歳以上の市民から2,300人（R7.6時点）（前回：H31.2時点）
- 配布数：2,300件 回収数：973件 回収率：42.3%（前回：41.1%）
- 設問内容：日常生活等の実態、市政に対する評価、今後のまちづくりについて 等